

# かみ

議会だより

平成31年  
3月定例会  
第57号



ずっと、ずっと、  
ともだち

(長井幼稚園 卒園式)

## — CONTENTS —

|                   |       |
|-------------------|-------|
| ■ 平成31年度予算        | 2～3   |
| ■ 予算委員会審査         | 4～6   |
| ■ 条例制定・改正         | 7～8   |
| ■ 町政を問う（12人が一般質問） | 11～16 |
| ■ 委員会調査報告         | 18～19 |
| ■ この人 ここにあり       | 20    |

3月定例会が2月26日に召集され、3月19日までの22日間の会期で開催されました。提案された案件は、平成31年度一般会計予算、7特別会計予算、3企業会計予算を中心に、条例制定・一部改正、契約、各会計補正予算など、46案件を審議し（予算特別委員会 田野公大委員長）、すべて原案通り可決しました。

# 観光振興、教育に重点

| 31年度の主な事業                    |                                  |  |
|------------------------------|----------------------------------|--|
| <b>産業・観光振興</b>               |                                  |  |
| 海上タクシー整備補助金                  | 94万円                             |  |
| 猿尾滝の遊歩道落石対策工事                | 6600万円                           |  |
| 大乗寺門前への看板設置工事                | 809万円                            |  |
| <b>教育</b>                    |                                  |  |
| 香住文化会館の建て替え                  | 2億8020万円                         |  |
| 小学生に英語セミナーを実施                | 33万円                             |  |
| 中学生対象に英検I B Aを実施             | 21万円                             |  |
| 柴山小学校の大規模改修工事                | 2億2201万円                         |  |
| <b>医療・福祉</b>                 |                                  |  |
| 妊娠を希望する女性などに<br>風疹予防接種の一部を助成 | 30万円                             |  |
| 補聴システムを役場庁舎に設置               | 31万円                             |  |
| 55歳を無料対象に加えたがん検診             | 471万円                            |  |
| <b>まちづくり</b>                 |                                  |  |
| 「新しい地域コミュニティ」づくり             | 936万円                            |  |
| <b>財政</b>                    |                                  |  |
| 町税収入                         | 16億7278万円                        |  |
| 預金にあたる基金残高（全会計）              | 71億3373万円<br>（町民1人当たり40万1000円）   |  |
| 借金にあたる町債残高見込み（一般会計）          | 204億8450万円<br>（町民1人当たり115万1000円） |  |

**国民健康保険事業特別会計予算**

**反対討論** 山本 賢司議員

町長は、国保事業県一

セミナー開催）  
⑥ 柴山小学校大規模改修  
⑦ 香住文化会館建替え  
⑧ 小代地域局建替え

以上、子どもたちに夢と未来をつなぐ町、美しい山、川、海、人が躍動する交流と共生の町としての町づくりを着実に推進する予算である。

本化の2年目で、今後の見通しもたにくくいという。

県の要求する国保事業納付金4570万円増え、5%増税になるが、基金を3700万円取り崩し負担軽減し将来負担に備え、6700万円残すとのことだが、あと1300万円入れて5000万円にすれば増税しなくて済む予算にすべきだ。

現状では、高齢化で所得が少ない。医療関係のセイフティネットであるならば、均等割り、平等

割りの応益負担はやめるべき、特に子どもたちの均等割りには軽減し、一般財源を入れ子育て支援策を充実すべきである。

**賛成討論** 西坂 秀美議員

国保制度は、年齢構成が高く、医療水準が高く、所得が低く、保険料負担が重く、財政運営が不安定である。

その安定のため、平成30年度から県に一本化された。

年々被保険者数が減少し、県への国保事業納付

金が増え一人当たりの負担増加は避けられない。

今後の見通しが立たない将来的負担に備えるための基金保留は必要と考える。

それでも町は3700万円を基金から取り崩し負担軽減した。

6月本会議まで、決算状況を見ながら、更なる軽減を期待し賛成討論とする。

**後期高齢者医療保険事業特別会計**

**反対討論** 谷口 眞治議員

第一に75歳以上の人を国保、健康保険から切り離し、高齢者だけの高い保険料と低い医療給付を押し付ける。年齢で差別する制度は廃止し、もとの老人医療費無料化制度にすべきである。

第二に消費税引き上げで介護保険料の軽減の充実や年金生活者支援金支給の見直しで均等割保険料軽減特例措置9割負担（590人）、8.5割負担（1155人）を廃止し、

10月から7割軽減とする。

9割の方は年金生活者支援給付金で補えるが、8.5割の方は、31年度据え置き、32年度半額、33年度は軽減なしで保険料は7328円から1万4656円と倍増となる。

年金は増えず負担が増える。

**賛成討論** 西坂 秀美議員

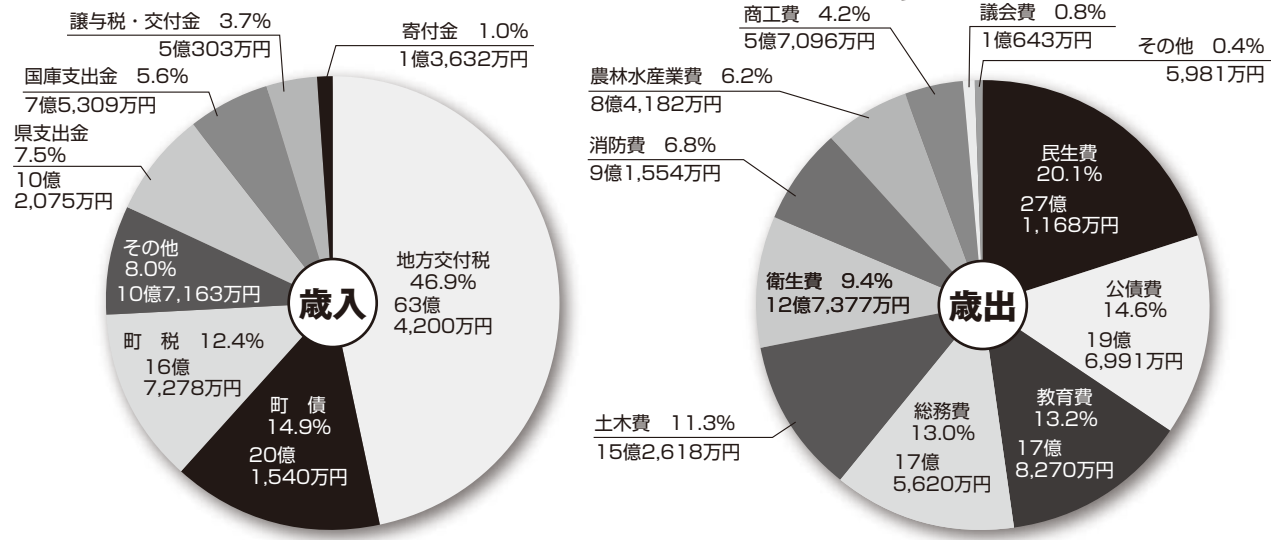
全国的に医療費が増加する中で消費税引き上げにともない11月から本制度の均等割り保険料（9割、8.5割減）の特例措置が廃止され7割軽減となる。

9割の人は介護保険料軽減拡充、年金生活者支援給付金で、8.5割の人31年度は激減緩和措置で据え置きされ、負担増とはならない。

消費税引き上げ財源で社会保障の充実を図るものだ。

若い世代と高齢者がそれぞれ負担し合って香美町を支えてくれた高齢者医療を守る制度だ。

## 一般会計歳入歳出予算総額 135億1,500万円



**予算の概要**

平成31年度当初予算は、一般会計135億1500万円（1.0%減）

減額となる主な要因は、香住文化会館整備事業、小代地域局庁舎建設事業などは増となるものの、起債の繰上償還に係わる公債費の減などによるものです。

**特別会計52億6010万円（1.8%増）**

増額となる主な要因は、保険給付費の増などにより介護保険事業特別会計で5209万円増となるほか、財産区特別会計を除く特別会計の増額によるものです。

**企業会計50億3854万円（1.1%減）**

減額となる主な要因は、水道事業企業会計の資本的収支の減によるものです。

**総額238億1364万円（0.4%減）**

また財政の健全度を示す指標「実質公債費比率」は旧3町が合併した17年度の28・8%から平均

成29年度決算で9.2%まで改善しました。

**平成31年度一般会計予算**

**反対討論** 山本 賢司議員

2年後の普通地方交付税一本化算定、借金増大等、将来不安を言い募り、財政調整基金等を住民の暮らしや子育て支援に使わない。

環境対策に対して金がかかるとして拒否している。

消費税10%増税導入を前提とした予算であり、地方消費税交付金3億1800万円見込みだが、30年度からの繰越事業31年度の普通建設事業費でなくなり、複数税率により住民の暮らしや営業を破壊し、行政効果が失われてしまう。

5兆円弱の税収のために、6兆円の対策費を使うような消費税増税自体に反対する。

**賛成討論** 見塚 修議員

本予算は、第2次総合、

過疎地域自立促進、新町づくり各計画等に基づく重要施策を計画年度内に財政計画との均衡を見極めながら、確実に実行する予算である。

予算総額は135億1500万円（昨年比1億3500万円減1.0%減）

減額予算と異論を唱えられる方もいますが、一、起債の繰上償還に係わる公債費を除いた2億9585万円。

二、緊急性を要する幼小中学校へエアコン設置を前倒しで補正予算4億8937万円計上しており、合わせると7億8522万円増（5.9%増）の積極型予算である。

また、7つの重点施策を着実に実行し、具体的新規継続事業としては、

① 香住区防災無線整備  
② 農業用施設町単独事業補助率引き上げ（55%から75%）  
③ 海上タクシー事業初期投資助成  
④ 3～5歳児の保育料の無償化  
⑤ 英語教育充実（夏季

# 予算審議 将来のために！！

予算特別委員会に付託された新年度予算議案の審議は、各課毎に慎重に審議し、最終日には町長・教育長に対する「総括質疑」を行い、活発な議論が交わされ、原案通り賛成多数で可決しました。

## 総務課

**問 31年度の職員体制は**  
**答** 27年度以降職員の削減は限界に達しているとの判断から、職員総数が概ね横ばいとなるように

新規採用に取り組んでいますが、近年の民間企業の採用が好調なことから正職員の採用が予定人員を下回りました。

業務に支障が出ないよう非常勤嘱託職員及び臨



住民のためにがんばります

時職員の配置に努めます。  
**問 ふるさと納税倍増の理由と今後の取り組みは**  
**答** 31年2月末で1億3000万円を超え、昨年度の約2倍の受入額となっているため倍増の予算としています。

## 財政課

**問 経常収支比率はどうなるか**

**答** 経常収支比率は人件費や扶助費、公債費のうちに毎年経常的に支出される経費が占める割合を言い、29年度87％を公表しています。

31年度当初予算では算出していません。比率として問題があると捉えて

いませんが、歳出の効率化自主財源の確保に努めます。

## 企画課

**問 地域おこし協力隊をどう配置しているか**

**答** 農林水産振興、観光振興など現在直面している課題解決と地域づくり支援につながる活動業務について募集し、町で採用のうえ、受入団体に派遣します。

31年度新規隊員は、但馬高原植物園活性化推進業務として、但馬高原植物園に配置します。

**問 結婚支援対策費拡充の内容は**

**答** 婚活イベントの開催と新たに婚活アドバイザーなどの講師を招き婚活セミナーを開催、婚活イベントでの成婚率の向上を目指します。

## 防災安全課

**問 防災士資格取得助成金の詳細は**

**答** 地域防災の担い手の育成を促進するもので、地域防災力向上のため防災士資格を取得しようとする方に対し、講座受講料、教材費、受験料等限度額5万円を助成します。

## 税務課

**問 町たばこ税、税收減の内容は**

**答** 近年の健康志向や30



活躍する地域おこし協力隊員

年度の税制改正による税率引き上げにより喫煙者が減少しており、本数で7.8％減、金額で2.3％減を見込んでの税収としております。

**問 税滞納を生活苦のシグナルととらえているか**

**答** 町税の滞納についての要因は様々ですが、生活困窮等の実態が把握できる場合は地方税法の規定に基づき対応します。

滞納者の方の状況を把握し、滞納者に応じた納付方法で完納に努めます。

## 建設課

**問 建設事業で箇所毎の事業費は示さないのか**

**答** 入札に影響がない程度で、可能な限りお示しするようにします。

## 上下水道課

**問 香住区油良の旧し尿処理施設の土壌汚染問題は土壌を入れ替えるべきか**

**答** 「土壌汚染対策法に基づく調査及び設置に関

## 香住病院

**問 31年度の医師の体制**

**答** 常勤医師4名、嘱託医師2名、支援医師8名、地域医療研修医師8名（3名増）です。

## 町民課

**問 自動通話録音機購入補助金の内容は**

**答** 近年、電話勧誘等の電話を媒体とした相談が消費生活センターに寄せられており、この問題に対応するため、かかってきた電話に自動で通話内容の録音を行う自動通話録音機を町内業者から購入した一人暮らしの高齢者に補助を行うものです。

**問 一般廃棄物・運搬業務委託、村岡区は業務委託している。香住・小代区も業務委託する検討は**

**されたか**  
**答** 一般廃棄物の計画収集は、香住・小代区が直営、村岡区は委託業者による収集を行っています。

香住・小代区については現状の収集作業員の雇用の関係などもあり、即業務委託といった検討はしておりません。

## 健康課

**問 子宮頸がん検診の取り組みスタンスは**

**答** がん検診推進事業費では、無料クーポンによる受診の動機付けや継続

## 福祉課

**問 ふれあい旅行補助金の内容は**

**答** ふれあい旅行については昨年度で泊まりでの開催は最後とのことで実施されたが、アンケート

等で宿泊での旅行の継続希望が多くありリフト付きバス1台分の補助金を予算化しております。

**問 引きこもり者への支援内容は**  
**答** 30年度より障がい者

## 農林水産課

**問 農業用インフラの長寿命化、担い手支援のための「補助金交付要綱」の見直しの考えはあるか**

**答** 水利関係の施設に限り補助率を55％から75％へ3年間限定で引上げます。受益者3人以上を2人以上に緩和しました。

## 観光商工課

**問 海上タクシー整備補助金94万円の説明を**

**答** 町内の観光業者、漁業者が中心となり、漁船を活用した海上からの観光タクシー事業「遊覧船的なもの」の初期経費を補助するものです。



期待される 海上タクシー

## 教育総務課

**問 小学校・幼稚園施設整備費のトイレの洋式化はどこまでやるのか**

**答** 学校施設トイレには洋式トイレを最低1基以上は設置することを目的としています。

31年度に整備すること  
で小学校・中学校・幼稚園の校舎、体育館の施設で100%を達成する予定です。なお、全ての便器を洋式に取り替えるものではありません。

## こども教育課

**問 小学校英語力スキルアップ事業の内容は**

**答** グローバル社会に対応した教育の充実を図るため、小学校6年生を対象に語学力やコミュニケーション能力を養う機会と様々な活動を通して、英語への興味・関心・学習意欲を高め、中学での英語学習につなげたい。

小6での全日程英語は、ALT、小・中学校教諭、教育委員会職員等がス



小学校の英語授業風景

タッフとして参加し、日帰り2日間、可能な限りオールイングリッシュ体験を目指します。

**問 IBAは民間に丸投げか**

**答** グローバル社会に対応した教育の充実を図ることを目標にしています。

また、中学校においては英検3級相当の取得を目指すために、英語能力判定テストである「英検IBA」を実施します。

自分の力を客観的に把握することが出来、「英検」受験への意欲を高め、英語力の向上を目指していきます。

## 生涯学習課

**問 文化会館整備事業において、検討委員会の決定は機能していたか**

**答** 内部会議及び専門家の意見を聞きましたが、どうしても報告書どおりにならない部分については、検討委員会の正副委員長にご報告しています。

正副委員長からは、「報告書は地域住民の要望書としてまとめられていますので、報告書の通り出来るのが理想であり

ますが、実施段階で変更がある事は想定される」との一定のご理解を得ましたので、整備基本計画をもつて総合計画審議会に諮り原案通りに認定いただいております。

## 町長・教育長への総括質疑

**問 農業用インフラの長寿命化、担い手支援のための「補助金交付要綱」の要件、補助率を含めた抜本的見直しをする考えはないのか**

**町長** 香美町農林振興対策事業補助金交付要綱の中で、平成31年度予算において、水利関係施設に限り、現行の補助率55%を75%に引き上げる事としました。

これは、農業にとって最も重要な水路等の維持管理が、年々農業者の大きな負担となっている中で、大切な農地を守ると共に少しでも農家の負担を軽減すること、農作業の効率化をはかるために3年間限定で行ないます。

また、今年1月から農道やほ場整備など、土地基盤整備の選択（補助）要件についても「受益者3人以上から2人以上」に緩和し、要綱の改正を行なっています。

3年の一定期間内に行なうことにより改修必要

な水利施設を短期間で直すことで、将来に渡る耕作の条件整備を進める考えがあるからです。

**問 人権教育推進事業の問題点。**

毎年指摘をしているが、同和地区の児童・生徒を特別扱いする事業で、この事業推進そのものが差別事象となる恐れがあるのでは

**教育長** 本事業が部落差別を助長し、差別意識の払拭を妨げているとは認識していません。

本事業を通して差別の誤り・思い込みや偏見の問題等を学び、自らの生き方を問い直す機会として意義あるものと捉えています。対象地区の児童・生徒だけではなく、

多くの子どもたちが生涯にわたって「命と人権」を尊重した言動がとれるような成人になってほしいという普遍的願いを指導者や関係者と共有しながら、推進しています。

## 特別会計総括質疑

**問 国民健康保険事業。国保財政町政基金を使つて、増税を一人当たり7000円に押さえるという。この基金は6700万円も残すとなっている。あと1300万円あれば、医療分の増税は止められるか**

**町長** 平成31年度は県に納める国保事業納付金の額が前年度に比べて、一般被保険者で3335万円、後期高齢者支援分が885万円、介護納付金分が348万円と増額になっています。

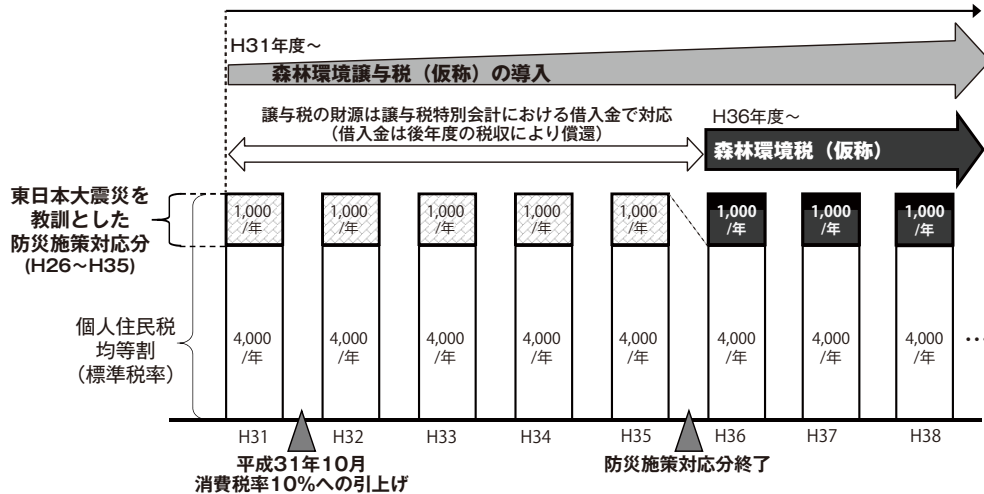
また、被保険者数は、年々減少している状況です。今期予算において、基金を医療分に3700万円繰り入れし、一人当たり約5%の増となる予算です。

また、今後の見通しも立ちにくい状況の中、国保税率の急激な上昇を緩和する場合などに備えるため、基金は保有しておく必要があると考えています。

荒れた森林を守る

# 『森林環境基金条例』を新設

## H31.4～ 新たな森林管理制度の施行



3月定例会には、国の環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の創設に伴い、香美町森林環境基金条例と香美町消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例が提案されました。

### 質疑

問 平成36年度からの課税だが、当町に譲与される額は

答 平成31年度には1500万円、平成45年度は4800万円です。

問 国民の負担増を伴わずと記されているがどうか

答 東日本大震災を教訓とした防災施設対応分の終了後であるため、純増ではないという意味で捉えています。

### 討論

#### 反対討論

谷口 眞治議員  
この条例は森林所有者の経営管理権に介入し、財産権を奪うものであるので反対する。

#### 反対討論

山本 賢司議員  
住民税の増加分が森林譲与税に充てられ、企業に負担させずに住民に広く求める財源を利用する条例である。

#### 賛成多数で可決

## 森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）とは

森林吸収源対策にかかる地方財源を確保するための税

### 〔概要〕

- ・ 国税とし、都市・地方を通じて、国民一人一人が等しく負担を分かち合っており、国民皆で森林を支える。
- ・ 個人住民税均等割の枠組みを活用し、市町村が個人住民税均等割と併せて賦課徴収。
- ・ 全額を譲与税特別会計に参入し、市町村及び都道府県に譲与。
- ・ その用途は市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進の費用にする。
- ・ 平成36年度から課税、年額1000円とする。
- ・ 森林管理制度の施行とあわせ、森林環境譲与税（仮称）は平成31年度から行う。

# 消費税改正による 25 施設の使用料及び利用料の整理を可決

10月1日より

香美町消費税の税率及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整理に関する条例

## 質疑

問 消費税増収分は社会福祉のため安定財源になるのか。使用料等の主な使途は

答 施設により異なりませんが、光熱水費や燃料費等に転嫁されます。

問 増収分は町に還元されるのか

答 国の施策としての増収ですので、当然、地方にも配分されます。

## 討論

## 反対討論

山本 賢司議員  
消費税増加分は社会保障の財源にならない

賛成多数で可決

## 使用料・利用料の改定施設

- ・ふれあい交流浴室
- ・香美町かすみ・矢田川温泉
- ・温泉保養館「おじろん」
- ・廃棄物の処理及び清掃
- ・霊きゆう車使用料
- ・グリーンパークハチ北
- ・瀬川溪谷憩いの森
- ・相大池公園
- ・瀬川平ガールデンバレイ
- ・吉滝キャンプ場
- ・小代南部健康高原
- ・小代ゴンドラリフト
- ・小代駐車場
- ・国民宿舎「ファミリーイン今子浦」
- ・村岡・都市と農村交流センター
- ・小代堆肥センター
- ・村岡有機センター
- ・香住魚類残さい等処理場
- ・国民健康保険診療所
- ・病院事業
- ・水道事業
- ・小代南部健康高原専用水道
- ・下水道事業
- ・生活排水処理
- ・個別排水処理

## 条例改正

3月定例会には、香美町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の他9の条例の一部改正が提案されました。主な質疑は、次のとおりです。すべて原案どおり可決しました。

## 質疑

香美町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例

問 時間外勤務の上限を  
超えた人数は

答 平成30年度の現時点では、1ヶ月45時間を超えたのは27人、年間300時間を超えたのは10人です。

問 上限時間の特例において、災害時の対応はどうか。また、過労死の労

災の認定基準は

答 災害時には対象となる職員はあります。過労死の基準は複数月の平均で80時間と認識しています。

賛成多数で可決

香美町環境センター条例

## 質疑

問 町外からの持ち込み

はあるのか

答 漂着ゴミ等で広域連携している場合にはあります。

香美町介護保険条例

## 質疑

問 消費税率が変わらなくとも施行されるか

答 国の予算案に応じての対応ですので提案しています。

## 質疑

香美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 専門職大学の前期課程を修了した者を含むとあるが、資格要件が緩和されたのか。支援員は確保できているのか

答 学校教育法の改定による付加です。支援員は十分ではありませんが、支障はありません。

全員賛成で可決



漂着ゴミを片付ける船員

## 【補正内容】

### 増 額

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 寄附金（一般寄附金）         | 2億円    |
| （ふるさと納税）           | 5000万円 |
| 小学校施設整備事業（空調設備）    | 3989万円 |
| 森林整備地域活動支援事業交付金償還金 | 612万円  |

### 減 額

|                             |        |
|-----------------------------|--------|
| 汚水処理施設整備事業<br>（し尿処理施設取りこわし） | 9040万円 |
| 文化会館整備事業（設計）                | 292万円  |
| 農地・農業用施設災害復旧事業              | 4310万円 |

## 平成30年度 補正予算

- 一般会計
- 4特別会計
- 3企業会計

今回の補正予算は年度末にあたり、決算見込みと多額の寄附金をいただいたために、補正されました。  
一般会計の主な内容は左記のとおりです。  
すべての会計は、全員賛成で可決しました。

### 質 疑

問 八原井堰に関する予算は繰越や債務負担行為で施工することだが、今年の水稲の作付に間に合うのか

答 現在までは、工事が順調に進んでいますので、間に合います。  
問 農地と農業用施設の



八原井堰

国の補助率はいくらか  
答 農地は96・0％、農業用施設は、99・6％です。

問 文化会館の建替検討委員会では、現施設を残して、現駐車場位置に建てるとの報告だったが、なぜ、取りこわして現位置に建てることになったのか

答 利用者の安全性の確保が困難であることと施工ヤード不足等のためです。

問 寄附金は小代地域局建替のためのものか  
答 小代のためだけの寄

附金ではありません。

問 森林整備地域活動支援事業交付金償還金の説明を

答 事業計画の作成、間伐準備作業等の一部に不適格があり、事業主体の北但西部森林組合が自主返納されるものです。

問 幼小中学校の空調設備事業で、国の補助率は1／3とのことだが、補助対象外とは何か

答 会議室、用務員室の部分です。

問 特別交付税の増額交付はあるか

答 約2億円の追加交付が3月中旬にあると予想



建替予定の香住文化会館

しています。（3月末に専決補正されます。）

問 小代診療所の収入減の原因は

答 人口減と医師の交替時の一時期に在宅医療等を村岡病院に依頼したため、その患者をもどすことができなかったために患者数が減りました。

問 保険者機能強化交付金の皆増の理由は

答 町独自事業で自立支援推進事業や地域ケア会議の開催及び介護保険制度安定化への取り組みのために、国から補助金が交付されることになりました。

## 人 事

### 教育委員

前委員の任期満了に伴い、新たに同人を教育委員として、任命する事に同意しました。

任期は令和元年5月31日から4年間で



香住区香住  
た だ み よ し え  
多田 好江 さん

### 人権擁護委員

前委員の任期満了に伴い、新たに同人を人権擁護委員として、法務大臣に推薦する事に同意しました。

任期は令和元年7月1日から3年間で



香住区無南垣  
た が み け い じ  
田上 圭児 さん

任期満了に伴い、引き続き同人を人権擁護委員として、法務大臣に推薦する事に同意しました。

任期は令和元年7月1日から3年間で



村岡区福岡  
と お じ か ず な り  
田路 一成 さん

## 契約認定 4件

熱中症対策のエアコン工事で  
町内すべての幼・小・中学校(園)に設置  
総額 2億5,537万円(税込)

■ 長井小学校・幼稚園及び余部小学校・幼稚園  
ナベヤ住設(株)(香住区下浜)

7,110万円

■ 村岡小学校・幼稚園及び兎塚小学校・幼稚園  
(株)アイテック西岡(村岡区福岡)

7,080万円

■ 村岡中学校及び小代中学校  
石井建材(株)(村岡区村岡)

6,381万円

■ 佐津小学校・幼稚園及び香住第二中学校  
(有)西本設備(香住区森)

4,966万円



### 質 疑

問 設計業者は1者であるのか

答 1者です。

問 単価に差があるがなぜか

答 電気式とガス式があ

るのが原因ですが、各種条件を考えて2方式となりました。

導入時はガス式が安価ですが、約20年で同じとなります。

問 メーカーはどれも同じか

答 メーカー指定はしておりません。

問 2つの地区をまとめて発注するのはなぜか

答 学校の休日等に工事が集中するため、工事期間・数の多い仕入れの効率化等を考え、まとめました。

### 香美町過疎地域自立促進計画の変更

事業推進することに国等の有利な交付金等を活用するために6カ所(猿尾滝整備等)を追加するものです。

辺地総合整備計画(村岡区祖岡)の策定  
軽消防車購入計画に伴い追加するものです。



全員賛成で可決

# 町政を問う

3月定例会での一般質問は、3月13日と14日に12人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。



但馬牛は山で育つ



平成31年度も空気を運ぶのか 町民バス

兵庫美方地域の但馬牛システムが日本農業遺産に認定されました。



東垣 典雄 議員

## 日本農業遺産に新たな施策を望む 現行の制度で畜産振興を図ります

この認定は地域固有の血統を守っていること、放牧やあぜ草をえさにする飼育方法で、草原や棚田の景観を保全してきたことなどが評価された。放牧を拡大し、観光面からも容易に放牧牛を見ることができ環境をつくり、但馬牛を広く皆様

に知ってもらうことが必要ではないか、耕畜連携で耕作放棄地に放牧し棚田の景観を守る。そのため、事故時の見舞金制度の創設を望む

と考えております。放牧を活発化させたりあるいは耕作放棄地対策としての放牧は力を尽くしていかなければならないことです。事故に遭った牛の補償については、公的な支援策として家畜共済の制度があり、現行の制度で対応し町単独での補償制度は考えておりません。



寺川 秀志 議員

## 町民バス見直し待ったなし 平成31年度は、現行のままです

町長に、一番期待したのは、公共交通が画期的に変わるような仕組みはできないか。バスの概念が外せないか。等の思いの中で検討しているとの強い意志を聞いた。

町長 役場内部に検討委員会を設置し、運行と利用状況、経費や財源、

一度、試験走行をやってみる強い意識と決意が欲しかった。役所の前例主義で、バスから離れられないのかゼロベースで検討していると期待していたが、知らぬ間に提言していた青ナンバーの乗り合いタクシーが消えている。検討したのか

スクールバスや福祉交通の現状、各地の事例を調査しながら、町民バスは電話予約制などの自由度の高い手法を積極的に取り入れ、大きな流れの一つであるデマンド運行について検討を行いました。平成31年度は、町民バスの運行は現行のままで行い、町民への利用意向実態調査の詳細分析を行った上で、運行の見直しを見極めて判断します。



人通りのまばらな商店街



早く安心・安全な橋を渡りたい

## 資源を活かす道・まちづくりを!! 計画的に取組みます



見塚 修 議員

本町の豊かな資源（山陰海岸GP、日本農業遺産但馬牛、水産物等）が豊富にある。これらを活かす・活かした施策をどう進めるのか。道づくりについて

町長 道づくり①少し町が負担してでも町民に

- ① 矢田橋上部工の意匠と河川敷公園。② 町道三田矢田線の改良と安全対策。③ 主要地方道香住村岡線境BPと大乗寺BPⅡ期。④ 国道482号大谷BPⅠ期、Ⅱ期。県道茅野福岡線大谷BPⅡ期。

まちづくりについて  
本町ならではの食づくり、体験施設づくり

喜んでいただける橋になるよう県に要望します。②安全確保のため事業化を検討します。③境BPは鋭意工事を進め、大乗寺BPは町を挙げて事業化の要望をします。④橋梁工事に着手し、Ⅱ期も事業化されます。⑤計画的に事業推進されます。まちづくりは本町の資源を活かしカニと牛を中心に四季の食と年間遊べる体験づくりを進めます。

## 住民のくらしを守る防波堤に 国策に従ったまちづくりを



山本 賢司 議員

社会保障の安定財源確保のため消費税を上げると、町長は言い続ける。

介護の負担増と給付減を指摘すると、制度維持のため、と答え続けた。この間の消費税収は法人税減収の穴埋めに使われた。消費税増税は、住民のくらしも営業も破壊する。町として、国保税の軽減、特にこどもの均等割の軽減と、新しいコミュ

ニティづくりのためにも住民の自主的活動のための公民館使用を無料にすることを求める

町長 今回の消費税引き上げは、増加する社会保障の財源確保と一千兆円を超える借金への対応として行なわれるもの。

地方交付税へ〇・一二％、地方消費税へ〇・五％増える。増税分は、幼児教育・保育の無償化、低所得者の介護保険料軽減、年金生活者支援給付金などに使われる。国・地方が協力して推進していく。国保税は国保基金で負担増を抑え、公民館は公的団体使用を無料にしたが、私的使用は減額しません。



五輪ムーブメントを香美町に！！



交通弱者の身になって！

## 公共交通は弱者に寄り添って 費用対効果も考え検討します



西坂 秀美 議員

新しい公共交通の検討に何故、現状と同額程度の上限を設定して検討し

たのか。これでは現状の枠を超えての検討ができない。超高齢化社会を迎えてこの町は住みやすい町なのか、高齢化・過疎化の進行を少しでも遅らせる対策に交通の充実が欠かせない。公共交通は現状だけで考えるのではなく5年、10年後のわが

町の状況、自分自身の5年、10年後を想像しながら弱い立場の住民に寄り添って取り組むべきだ

がかかっても良いです。香美町の本来公共交通を必要とする村岡区や小代区は、ほんの少しだけしか変わっていないのに、香住区だけが便数も増えて利便性が高まるようなバスに1.5倍も費用をかけることが受け入れられるかという判断のもとにもう少し検討をするようにとの指示をしました。

## 東京オリンピック事前合宿招致は

### 全力で取り組みます



藤井 昌彦 議員

招致見込み、及びオリンピッククレガシーを含む今後の展開は

**教育長** 1月、上治丈太郎氏らに助言をもらい、アスリート目線でプレゼンをしました。

東京からの距離、選手が韓国と日本とで迷っていること、出場資格が6月の世界選手権でベスト8など、不安材料はありますが、7月には視察に

東京オリンピックのアーチエリートチーム事前合宿招致のため、ディレクターに会いに2月にフランス国へ行ったと聞いた。

その交渉の進捗状況、



マスク着用で感染予防



ドライブレコーダー装着車

## 公用全車にドライブレコーダーを 設置車両を増やしていく方針です



西谷 高弘 議員

最近のメディアでは、走行妨害から脅迫行為、傷害事件が頻繁に報道さ

れています。本町には、多くの公用車があり、職員の方も毎日危機感を持って慎重に運転されていますが、どこで事故に遭遇するかわかりません。そこでドライブレコーダーを公用車全車に装着してトラブルに巻き込まれない為、また、ドライ

バーの運転に対する意識も緊張感を持ち、安全運転に心がけるためにも装備するべきではないか

町長 職員の安全運転意識及びマナーの向上、交通事故発生時における責任の明確化や処理の迅速化を図るため公用

車にドライブレコーダーを順次設置していく方針としており現在公用車は220台あり、設置している車両は16台です。平成31年度当初予算では、36台購入分の予算を計上しており、ドライブレコーダー設置の効果等検証する中で、予算を考慮しながら優先順位を決めて設置する車両を増やしていく方針です。

## こどものインフルエンザ予防接種の無料化を 財政上の裏づけが必要で検討課題とします



徳田喜代子 議員

今季はインフルエンザの全国推定患者数が一千万人を超える大流行となった。町内の小中学校では学級閉鎖の事例もありその対策が急務だ。発症や重症化を予防する

一定の効果がある、こどものワクチン接種は任意であり、13歳未満では二回の接種が必要で多子世帯では費用も高額となる。次項目について所見を伺う。①本町の学校園等のインフルエンザ対策②こどものインフルエンザ予防接種に助成制度を

教育長 ①保育所・認定こども園は厚労省のガイドラインに沿って実施、

学校では学校保健安全法で感染症予防のため出席停止の措置を講じています。毎朝の健康観察、流行に備えてマスクの着用や手洗い、手指の消毒励行を実施しています。町長 ②こどもの健康を守るために重要だと認識しています。任意予防接種は全額町負担となるため、恒久的な財政上の裏づけも必要で、今後の課題として検討します。



いつまで続くか 地域行事



町民のくらしをしっかりと応援する予算を

現在「新しい地域コミュニティづくりの基本方針」を策定し、ホーム



田野 公大 議員

## モデル地区の進行状況を公開すべき 情報共有は重要と認識、今後も伝えていきます

ページで趣旨や進め方などを掲載しているが、新しい地域コミュニティ設立準備委員会での話し合いの内容や進行状況等（議事録など）をリアルタイムで公開して、情報を共有することが必要ではないかと考える。準備段階で情報共有す

**町長** 町内全域のモデルとなる射添地区の取り組み状況や進捗状況を他の地域のみならず、お知らせし、情報共有を行い、射添地区での取り組みを

ることで、他地域も同時進行的效果が期待されると思うが

他人ごとではなく自分ごととして捉えていただき、新しい地域コミュニティづくりの必要性を認識していただくことは重要であると考えています。今後もホームページや広報紙を通じて射添地区における取り組み状況等をお伝えしていくこととしています。



谷口 眞治 議員

## なぜマイナス予算か。財源はある 前年度補正を換算すると大幅増です

町長の平成31年度所信表明について問う。  
一般会計予算は、約135億円と前年比1.0%のマイナスだが、香美町には不況風しか吹いておらず、厳しいくらしを余

儀なくされている町民をしっかりと応援する積極予算を組むべきではないか。積極予算の財源は、財調・減債・その他基金全体で合併当初の平成18年度11億円の約6倍の65億円ある。特別交付税2億円以上の過小見積りなど余裕の予算ではないか

大きな要因です。昨年の幼稚園、小・中学校の空調設備事業費約5億円の補正を勘案すると実質大幅増です。30年度末の財調基金約35億円のうち31年度予算で1億5千万円取崩し、施政方針重点項目に予算配置しています。普通交付税の一本算定移行や人口減による減額、起債償還額の増額、災害への備えなどを考えると楽観できません。



すぐには来れない緊急車両

香美町消防団の活躍・  
防災安全課の発足で、町  
民の安全・安心に大いに



岸本 正人 議員

## 緊急車の到着時間を各地区に示せ 自治会長・消防団に周知します

寄与している。

しかし、団員は地域外勤務が多く、昼間の時間は少ない。各地区への美  
方広域消防の消防車・救  
急車の物理的予想到着時  
間を広くお示しする。す  
ぐには来れないことを  
知ってもらう。通報して  
からの初期の消火・急病

対応等は、自主防災組  
織・自身の防災意識の向  
上が大事なことを、さら  
に知ってもらうべきだ

**町長** 現在救急車は、  
美方広域消防本部に2台、  
香住分署及び村岡出張所  
にそれぞれ1台配備され  
ております。

それらの到着時間につ  
いては、美方広域消防本  
部のホームページに、受  
信してから現場に到着す  
るまでのおおむねの所要  
時間を行政区ごとに掲載  
されております。

今後は、各自治会長や  
消防団に対して、このこ  
とを周知してまいります。



新しい年号につなぐ予算でしっかりした取り組みを望む



西谷 尚 議員

## 中小・小規模事業・農業の取り組みが弱い 支援を講じ農・商・工活性化に取り組む

中小企業・小規模事業  
者への取り組みと、農業  
者への取り組みが弱いと  
感じた。中小零細企業を  
見ると、事業の低迷・縮  
小。融資制度活用の動き  
も弱い。新たな投資もな

い。人材不足である。町  
として、大胆な金融政策・  
機動的な財政政策・民間  
投資を喚起する商工業者  
への政策の考えはないの  
か。

農業においても、耕作  
放棄地の取り組みが進ん  
でいない。また、人・農  
地プランの農地仲人役の  
取り組みが進んでいない

**町長** 確かに政策の展  
開を図っても事業者の利

用が少なかつた制度もあ  
ります。決して町内事業  
者の支援に対して怠って  
いたわけではなく、その  
時に合う、出来る支援を  
積極的に取り組んでいま  
す。農業においても、今  
期予算で土地盤整備事  
業補助金の率を現行の  
55%から75%に引き上げ  
施設の維持に努め、問題  
解決に向けて取り組んで  
まいります。

# 一般質問 その他こんな質問もしました

| 質問議員  | 質問項目                                                                                                                                             | 質問議員  | 質問項目                                                               |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------------------------------------------------------|
| 寺川 秀志 | 香美町の明るい未来、みんな元気で、安全安心な町づくりに思いを紡ぐ<br>・設計事務所の実績から見る評価・検証について                                                                                       | 藤井 昌彦 | ・奨学金制度について<br>・森林環境譲与税について                                         |
| 東垣 典雄 | ・人口減少対策を伺う                                                                                                                                       | 西谷 高弘 | 安全・安心な町づくり<br>・役場が休日での災害対策と危機管理体制について                              |
| 見塚 修  | このまちに住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまちづくりを求めて<br>(Part8)<br>・安心・安全・人材育成編<br>危機管理体制充実のための職員の資質向上と人材育成・養成について伺う<br>・行政職員編<br>正規職員の減少の中にあって、職員の安全衛生・健康管理について伺う | 徳田喜代子 | ・香美町のこどもを守るインフルエンザ対策について問う                                         |
| 山本 賢司 | ・農業共済の県下一組合は自治権を放棄するもの                                                                                                                           | 谷口 眞治 | ・教育長の平成31年度教育方針を問う                                                 |
| 西坂 秀美 | ・教員の時間外勤務について                                                                                                                                    | 田野 公大 | ・高度情報化への対応について                                                     |
|       |                                                                                                                                                  | 西谷 尚  | ・平成31年度香美町教育の重点について問う                                              |
|       |                                                                                                                                                  | 岸本 正人 | ・外国人材増加対策を計画すべきでは<br>・町が関わる第三セクター的な組織への補助・支援についての一定の基準・ルールを作成すべきでは |

## 議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ表示しています。

| 議案名                                                     | 議員名 | 東垣典雄 | 西坂秀美 | 見塚修 | 山本賢司 | 藤井昌彦 | 西川誠一 | 徳田喜代子 | 谷口眞治 | 寺川秀志 | 田野公大 | 西谷高弘 | 岸本正人 | 西谷尚 | 森利秋 | 上田勝幸 |
|---------------------------------------------------------|-----|------|------|-----|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|-----|------|
| 議案 第11号 平成31年度香美町一般会計予算                                 |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○   | —    |
| 議案 第12号 平成31年度香美町国民健康保険事業特別会計予算                         |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○   | —    |
| 議案 第13号 平成31年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計予算                      |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○   | —    |
| 議案 第27号 北但行政事務組合規約の変更について                               |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ×     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ×   | —    |
| 議案 第34号 香美町森林環境基金条例を定めることについて                           |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○   | —    |
| 議案 第35号 香美町消費税の税率及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例整理に関する条例を定めることについて |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ×   | —    |
| 議案 第36号 香美町職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて     |     | ○    | ○    | ○   | ×    | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○   | —    |
| 議案 第46号 財産の無償譲渡について                                     |     | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ×    | ○   | ○   | —    |
| 請願 第1号 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書             |     | ×    | ×    | ×   | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×   | ×   | —    |

○…賛成 ×…反対 退…退席（採決の際に議場から退席し採決に加わらなかったことです。）

※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。

## 3月定例会では、次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 香美町過疎地域自立促進計画を変更することについて
- 辺地総合整備計画（相岡辺地）を策定することについて
- 平成30年度香美町一般会計補正予算（第9号）
- 平成30年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）
- 平成30年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成30年度香美町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成30年度香美町矢田川憩いの村事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成30年度香美町公立香住病院事業企業会計補正予算（第4号）
- 平成30年度香美町水道事業企業会計補正予算（第5号）
- 平成30年度香美町下水道事業企業会計補正予算（第5号）
- 兵庫県町議会議員公務災害補償組合規約の変更について
- 兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- 長井小学校・幼稚園及び余部小学校・幼稚園空調設備整備工事の請負契約を締結することについて
- 村岡小学校・幼稚園及び兎塚小学校・幼稚園空調設備整備工事の請負契約を締結することについて
- 村岡中学校及び小代中学校空調設備整備工事の請負契約を締結することについて
- 佐津小学校・幼稚園及び香住第二中学校空調設備整備工事の請負契約を締結することについて
- 債権を放棄することについて（土地賃借料）
- 債権を放棄することについて（水道料金）
- 香美町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町消防賞じゅつ金等及び殉職者特別賞じゅつ金支給条例等の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町環境センター条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町児童公園条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町立子育て・子育て支援センター条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町長板繁殖和牛放牧場条例を廃止する条例を定めることについて
- 香美町中小企業振興条例を定めることについて
- 平成31年度香美町介護保険事業特別会計予算
- 平成31年度香美町財産区特別会計予算
- 平成31年度香美町町立地方卸売市場事業特別会計予算
- 平成31年度香美町国民宿舎事業特別会計予算
- 平成31年度香美町矢田川憩いの村事業特別会計予算
- 平成31年度香美町公立香住病院事業企業会計予算
- 平成31年度香美町水道事業企業会計予算
- 平成31年度香美町下水道事業企業会計予算

# ワークシヨップで新しい地域コミュニティ づくりの連携を

## 総務民生常任委員会

**1. はじめに**  
平成30年度の重点調査として、新しい地域コミュニティ、子育て・移住定住対策、公共施設の個別施設計画等を中心に鋭意調査を行いました。委員会開催回数は11回、主な調査事項は表のとおりです。

**2. 新しい地域コミュニティのモデル地区は**  
地域での暮らしを守るために、新しい地域コミュニティづくりの基本方針が策定され、射添地区がモデル地区に決まりました。幅広い層の住民参加型の自治組織、地域住民と行政との協働のま

ちづくりを進めていく方法としてワークシヨップでの話し合いが重要であり、人材育成、やり方を確立していくべきだと委員会として提言しました。

**3. 移住定住対策は子育て支援とセットで**  
人口減少対策は喫緊の課題として、平成28年度から5年間で50世帯の移住を目標に掲げ達成を目指していますが、全国で移住する人の総数は限られている中で香美町を選んでもらうには、他市町より優れた子育て支援を含む魅力ある施策の展開をすることと提言し、取り組みを求めました。

**4. 公共施設の個別施設計画への提言**  
老朽化した施設の更新維持等は平成29年度から10年間を前期、後期に分けた計画で実施。中間見

直し時期では地元や町民の意見を聞くことが必要であり、委員会として提言を行っていきます。

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 徳田喜代子 |
| 副委員長 | 東垣典雄  |
| 委員   | 西坂秀美  |
| 委員   | 藤井昌彦  |
| 委員   | 谷口眞治  |
| 委員   | 田野公大  |
| 委員   | 西谷高弘  |
| 委員   | 森利秋   |

### 主な所管事務調査・付託案件審査

| 委員会の開催日                | 調 査 事 項                                                                                        |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 4月19日              | (1) 平成30年度所管の主要な事業概要について<br>(2) 所管事務調査について                                                     |
| 第2回 5月16日              | (1) 公共施設等総合管理計画（個別施設計画）について<br>(2) 所管事務調査について                                                  |
| 第3回 6月12日              | (1) 介護予防事業の状況について<br>(2) ごみ問題（減量化、資源化、不法投棄等）の状況について<br>(3) 公立香住病院事業企業会計決算審査について                |
| 第4回 7月18日              | (1) 公立香住病院事業企業会計決算審査について＝原案認定<br>(2) 介護保険施設の視察（小規模多機能型居宅介護事業所）<br>(3) 防災訓練について、防災行政無線整備について    |
| 第5回 8月9日               | (1) 地域包括ケアシステムについて<br>(2) 視察研修について                                                             |
| 第6回 9月5日               | (1) 移住定住対策について<br>(2) 新しいコミュニティ組織について                                                          |
| 研 修 10月23日<br>視 察 ～24日 | (1) 鳥取県日南町「地域自治組織について」<br>(2) 岡山県和気町「子育て支援と移住定住対策について」                                         |
| 第7回 11月14日             | (1) 視察研修のとりまとめについて                                                                             |
| 第8回 12月10日             | (1) 最終処分場と水処理施設の維持管理の状況について<br>(2) 漂流・漂着ごみ処理施設について<br>(3) 香美町自殺対策計画の策定について<br>(4) 視察のとりまとめについて |
| 第9回 1月21日              | (1) ふるさと納税の状況について<br>(2) 新しい地域コミュニティ組織について                                                     |
| 第10回 2月13日             | (1) 下浜区公会堂の視察について<br>(2) 委員会活動報告について                                                           |
| 第11回 3月1日              | (1) 今後の国保税の動向について<br>(2) 公共施設等総合管理計画（個別施設計画）の進捗状況について<br>(3) 委員会活動報告について                       |



# 地域振興は官民が連携して取り組みを

## 産業建設文教常任委員会

### 1. はじめに

平成30年度の重点調査として、農林水産業の振興、学校統合問題、中小企業の現状と課題について商工会職員と意見交換するなど、当面する諸問題について鋭意調査を行いました。また、委員会開催回数は12回、主な調

### 2. 何事も職員の熱意が大事

石川県羽咋市で、自然栽培、6次産業化の取り組みを視察し、「自然栽培を中心とした地域資源を活用した商品開発・流通促進については、一朝

査事項は表のとおりです。

### 3. 30年6月、日本農業遺産認定へ向けて認定申請を提出する。

「美方郡産但馬牛」の世界・日本農業遺産認定へ向け、但馬家畜市場、みかた畜産事業所へ出向き調査を行いました。世界農業遺産の認定を日本で始めて受けた石川県「能登の里山里海」を視察しましたが、「認定された能登地域は、4市4町の広範囲にわたっていました。地域の取り組み、活性化を継続させていくことが重要」と提言を行いました。

### 4. 30年7月2日、世界・日本農業遺産シンポジウム参加

30年度所管事務調査である世界・日本農業遺産の認定を目指すシンポジウム「兵庫美方地域の但馬牛システム」が美方郡農業総合研修センターで開催され、参加しました。シンポジウムでは、国連大学サステイナビリティ高等研究所の永田明先生による「農業遺産制度の概要と意義」と題した講演や兵庫県立農林水産技術総合センター北部農業技術センター野田昌伸上席研究員による「美方郡産但馬牛の歴史と世界・日本農業遺産」と題した講演が行われました。最後に世界・日本農業遺産認定に向けた関係者の一致団結「がんばろうコール」を行い思いを一つにして閉会しました。

### 5. 31年2月15日「兵庫美方地域の但馬牛システム」日本農業遺産に認定！

その後、「美方郡産但馬牛世界・日本農業遺産推進協議会」の活動が認められ日本農業遺産に認定されました。

今後は、世界農業遺産の認定に向け関係者の更なる団結が求められます。



## 主な所管事務調査・付託案件審査

| 委員会の開催日               | 調 査 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 4月27日             | (1) 所管事務調査について                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 研 修 5月9日              | (1) 但馬家畜市場セリ市の見学<br>(2) 市況報告、神戸ビーフについて                                                                                                                                                                                                                                 |
| 第2回 6月13日             | (1) 請願 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について＝採択<br>(2) 水道事業企業会計・下水道事業企業会計決算審査について<br>(3) 所管事務調査について                                                                                                                                               |
| 研 修 6月27日             | (1) 柴山ケーソン事業について（作業ヤード現場、沖防波堤見学）                                                                                                                                                                                                                                       |
| 第3回 7月2日              | (1) 日本農業遺産シンポジウムについて（出席）<br>(2) 水道事業企業会計歳入歳出決算審査について＝原案認定<br>(3) 下水道事業企業会計歳入歳出決算審査について＝原案認定                                                                                                                                                                            |
| 第4回 8月10日             | (1) 視察研修について                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 第5回 9月6日              | (1) 台風21号の状況報告について<br>(2) 建設課事業説明                                                                                                                                                                                                                                      |
| 第6回 9月18日             | (1) 八原井堰災害復旧工事の請負変更契約について                                                                                                                                                                                                                                              |
| 研 修 10月9日<br>視 察 ～10日 | (1) 石川県庁「世界農業遺産について」<br>(2) 石川県羽咋市「自然栽培及び6次産業化の取組みについて」                                                                                                                                                                                                                |
| 第7回 11月22日            | (1) 香美町の名品認定制度について<br>(2) 視察研修の取りまとめについて                                                                                                                                                                                                                               |
| 第8回 12月11日            | (1) 請願 矢田川クリーンセンター解体・撤去に関して「香美町が示している今後の対応策」は油良区として到底納得のいくものではなく、土地賃貸借契約書第5条「原状の変更」、第6条「原状の回復」について契約時の良好円満な関係に立脚した誠心誠意を持った円満解決こそが唯一当区として了解可能な対応策であり、臨時総会の区民総意の決議事項を尊重した対応策を求める請願について＝不採択<br>(2) 防災・減災に資するインフラ整備促進のための財政確保等具体的な対策を求める意見書について<br>(3) 視察研修報告会にむけた報告内容のまとめ |
| 第9回 12月19日            | (1) 議案第130号香美町中小企業振興条例を定めることについて                                                                                                                                                                                                                                       |
| 第10回 1月18日            | (1) 香美町中小企業振興条例（案）について                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 第11回 2月7日             | (1) 香美町中小企業振興条例（案）について＝原案可決<br>(2) アンケートの内容、進捗状況について                                                                                                                                                                                                                   |
| 第12回 3月4日             | (1) 請願 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書＝不採択<br>(2) 常任委員会活動報告について                                                                                                                                                                                                   |

# ほろいじあじ

(香住区)

今回は、介護タクシー「もみじ」の経営者として、東方西走忙しくされている山崎優さんにお話を伺いました。



山崎 優さん

ー経営はいつ頃から始められましたかー

平成28年12月より開業いたしました。

ー運転手としての日々の活動で、気を付けていることはー

安全・安心はもちろん、時にはご利用者様の様子をこまめに伺ったり、意識的に声掛けを行ったりしています。

ー今迄に一番遠くへは、何処まで行かれましたかー

丹波市氷上町の犬塚病院まで片道で90km程で2時間かかりました。

ー日々の活動の中で、苦労(悩み)はありますかー

他の自治体に比べて介護タクシー自体の認知度も低く、経営的な苦勞もあります。日々搬送させていただく中で、ご希望の時間が重なってしま



うことがしばしばあり、お待ちいただいたり、状況によっては、お断りをせざるを得ないのが悩みです。

ー介護タクシーを経営する上でのモットーはー

施設や病院間の搬送だけでなく、ベットや布団からの車イスやストレッチャーへの移動・移乗介助の他、理美容所・冠婚葬祭・スーパーマーケットでの買物や、診察室内までの付き添いなど、可能な限りご希望に添った介助を行ったり、歩行に不安がある方の利用も可能なので、その方々に、

ご満足いただけるサービスの提供を目指しています。

ー日々介護施設とのかわりをどのようにもっていますかー

施設から病院への通院も多くご家族や介護施設の方も付き添えないケースが多々ありますので、施設での異変や状態を医師や看護師の方に伝えたり逆に医師や薬剤師の方からの情報を施設に伝えるといった関わりを持たせて頂いています。

ー介護施設との連携は上手にしていますかー

現在、関わらせて頂いている介護施設とは問題なく連携させて頂いていると思いますが、現状に満足することなく、より良い連携ができるように努力が必要と考えます。

ー行政に支援を望むとしたら何がありますかー

開業して3年目ではありますが、外出支援制度の事前申請が必須で即効



性がないことや、補助条件の明確化、その他には、ご利用者様が、どの登録者を利用して運賃に大差のない運賃設定の一本化など、外出支援制度の認知や整備の改善も他の自治体に比べて遅れているので、制度の整備・改善を望みます。

ー議会にひと言お願いしますー

議員の方々が日々常々、香美町に住む人々のことを考え、議論や行動をされていることに敬仰しております。これからも香美町が安全・安心で暮らしやすい元気な町づくりを期待しております。

## 編集後記

晴天で桜の花が満開の4月1日に新元号が「令和」と決定しました。万葉集「梅花の歌」から引用されたそうです。美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ。梅の花のように厳しい寒さの後、美しい花を咲かせるとの意味があるそうです。

私は元号が好きです。西暦だけいいと言う人もいるそうですが、元号は明治、大正、昭和、平成とそれぞれの時代を共に生きて来た仲間意識のようなもの、また各時代の背景が浮かんできます。新しい元号に合わせ香美町も元気に明るく出発しましょう。

(N)

広報公聴常任委員会

委員長 西谷 高弘

副委員長 藤井 昌彦

委員 東垣 典雄

見塚 修

西川 誠一

岸本 正人

西谷 尚